

生態工房・信里クラブ 2019年度活動報告
 発行者：認定NPO法人 生態工房
<http://www.eco-works.gr.jp/>

Report 2

ため池 2ヶ所で水草刈り (11/28,29)

以前水草刈りをしたため池の所有者さんからリクエストがあり、ため池のお手入れに参上しました。ぼんすけ育成会、当会スタッフ、長野市内の大学生が参加しての作業でしたが、あいにく小雪のちらつく寒い日となりました。

ヨシやガマなどの抽水植物は、刈り取りをしないと密生して枯死した植物体が堆積して池が浅くなり、徐々に陸化してしまいます。定期的に刈り取ることで群落を若返らせるとともに、水域を維持する管理が必要です。



お手入れ2回目の池。スッキリした池を眺めながら語らう、楽しいひとときを過ごしました。

今回作業した 2ヶ所の池は、以前お手入れをした場所と新規の池。いずれも伸び放題の抽水植物を刈り取り水域を拓げるべく鎌で刈り、根を抜き取りました。池畔に伸びた低木も落ち葉の堆積により貯水量を減少させるため、所有者の方の許可を得て枝を落とし、池岸がすっきりしました。



新規の池。ヨシが広がって水域が狭まっていた。作業後は、池が広くなりました。

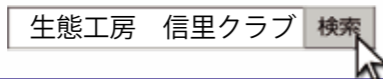


揃いのすげ笠をかぶり、息を合わせて苗を植えました。

生態工房・信里クラブ 2020年度入会・継続のお願い

信里のシナイモツゴと水田生態系を保全するため、当会は2017年からぼんすけ育成会と協働して、シナイモツゴの生息池とつながる田んぼやため池の管理・再生に取り組んでいます。この活動を行うための道具類（胴長靴、バケツ、網等）や移動費は <生態工房・信里クラブ> の会費によって支えられています。2020年度も信里クラブの会員継続をお願いします。非会員の方はぜひ入会をご検討ください。同封の【郵便振替用紙】または、paypalによるクレジットカード決済、銀行振込等で会費をお支払いいただけます。詳細は生態工房ホームページをご覧ください。

生態工房・信里クラブ会費 3,000円/年 (4月～翌3月までの単年度制)
 信里クラブ会費は生態工房への寄附金として、所得税寄附金控除の対象になります。



Report 1

3年目のぼんすけ米と田んぼビオトープ

シナイモツゴのため池から水を引いている田んぼが放棄されたことにきっかけに始まったぼんすけ米作りは、2019年で3年目になりました。今年度は当会会員に案内しているエコモニの常連参加者とともに、田んぼ作業に勤めました。

今年からぼんすけ田んぼが新たに2枚増えました。最近耕作放棄された田んぼで、放棄前は肥料を施していたため土に養分が残っていたようで、減農薬栽培下でも予想以上にイネが生長しました。台風に見舞われながらも2018年度より収量が増えました。

◆田植え (6/2)

水を張った田んぼに入ると、ひんやりぬるりとした泥の感触でした。目安の線に沿って整然と並び、20~30cmに伸びたコシヒカリの苗を数株ずつ植えていきました。苗が浮かないように慎重に、でも素早く植える早乙女(男)たち。田んぼ周囲の水路をお掃除したり、そこかしこで鳴くカエルやトンボたちを観察し、田んぼの一日を満喫しました。

作業後は長野市内の古民家温泉宿に一泊し、疲れた体を癒やしました。

発行者：認定NPO法人 生態工房
 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町4-9-22 フラットK101
 Tel&Fax: 0422-27-5634 Email: eco@eco-works.gr.jp
 URL: <https://www.eco-works.gr.jp/>

We love ぼんすけ育成会
<http://ponsuke.cybernetwork.jp/>



苗床から数株ずつ採り、田んぼに差し込んで植えます。「こう持って」と教えていただきました。



刈り取ったイネを束ねるワラも現地調達です。農家の技を体得すべく、作業に励みました。

◆稲刈り (10/6~7)

10月12日に列島を襲った台風19号は、長野市内にも大きな爪痕を残し、ぼんすけ育成会会員の中には自宅などに被害を受けた方もいました。

ぼんすけ田んぼは山腹にあるため浸水はしませんでした。強風により収穫前だったイネが倒伏した田んぼもありました。倒伏後すぐに刈り取れずに水に浸かってしまったため品質が劣化してしまってお米は、B級米としてスタッフがおいしくいただいています。

稲刈りは、小型の機械や手刈りで行いました。新田んぼは過去の施肥が影響したのか、生長がよすぎて大部分が倒伏してしまい、手刈りしました。金色

の穂が揺れトンボが飛び交う風景のもと、心地よい汗をかきました。刈ったイネは束にしてはぜに掛け、1ヶ月ほど天日干しをしてから脱穀します。長い竹や資材を用意し、手際よくはぜを組み立てるぼんすけ育成会の長老たちが、とてもかっこよく見えました。



◆収穫祭と精米 (11/29)

脱穀はぼんすけ育成会で行い、後日、当会も参加して収穫祭を行いました。収穫祭当日、脱穀・乾燥したお米を精米してきました。

2019年は田んぼが増えたこともあり、2018年度よりも収量アップ! 炊きたてはモチモチで甘くて、おいしいの一言に尽きます。数量限定でネットショップにて販売中です。ご自宅用、ご贈答用にも、ぜひお試しください。



ネットショップは、QRコードからどうぞ。2kgから購入でき、白米・玄米を選べます。

生態工房
購買部



生きもの Report

トンボ編

田んぼやその周りには生きものがいっぱい! 作業中に見つけたトンボたちをご紹介します。

◆オオイトトンボ、クロイトトンボ

田んぼに隣接する池で、産卵中のイトトンボを発見しました。オスと連結したメスが水面付近の水草(植物組織内)に産卵します。

◆ヨツボシトンボ

腹が太くずんぐりした印象で、羽に4ヶ所の斑があります。全国に広く分布しますが、関東地方などでは減少しています。田植え中、枝先に止まっているのを見つけました。

◆アキアカネ

「夕焼け小焼けの♪」で知られる代表的な赤トンボの一つです。稲刈りの日、田んぼ脇に咲くワレモコウに止まっていた。背景は、放棄水田を覆うセイタカアワダチソウです。

ほかにも、ギンヤンマ、クロスジギンヤンマなど、たくさんのトンボが飛び交っています。普段の活動地では見られないトンボに、大興奮でカメラを向けることも。トンボ好きさんのお越しをお待ちしております!



オオイトトンボ



クロイトトンボ



ヨツボシトンボ



アキアカネ